

自由民主党京都府支部連合会青年局海外視察研修

報告書

視察先：台湾／台北市・台南市・嘉義市

期 間：平成24年8月28日（火）～8月31日（金）



視察研修参加者名簿

	氏名	役職	職業
1	石田宗久	青年局常任顧問	京都府議会議員 3期
2	寺田一博	青年局長	京都市議会議員 3期
3	能勢昌博	青年局幹事長	京都府議会議員 1期
4	津田大三	青年局幹事長代理	京都市議会議員 3期
5	吉井あきら	青年局政策審議会長	京都市議会議員 2期
6	四方源太郎	青年局副幹事長	京都府議会議員 1期
7	二之湯真士	青年部長	京都府議会議員 2期
8	園崎弘道	青年部幹事長	城陽市議会議員 2期
9	太田健司	青年部副部長	城陽市議会議員 3期
10	竹中利行	事務局	

主な視察日程と概要

【8月28日（火）1日目】

- (1) 九份視察
- (2) 外交部亞東關係協會主催歓迎会

【8月29日（水）2日目】

- (3) 嘉義市表敬訪問
- (4) 八田与一記念公園、烏山頭ダム視察
- (5) 台南市賴清徳市長主催の歓迎夕食会

【8月30日（木）3日目】

- (6) 台南市議会表敬訪問
- (7) 赤緬樓、大天后宮視察
- (8) 奇美博物館視察

【8月31日（金）4日目】

- (9) 安平樹屋、安平古堡視察

【8月28日（火）1日目】

（1）九份視察



（左・右）九份の街並

台北桃園国際空港到着後、京都の街並み保存、観光客の動線の参考にするため、台北北部、新北市瑞芳区にある山あいの町「九份」を視察。全体としてレトロ調な街並みであり、当時の酒家（料理店）などの建物も多数残されている。日本では宮崎駿監督のアニメ映画「千と千尋の神隠し」のモデルになった街として紹介されることが多い。

（2）外交部亞東關係協會主催歓迎会



（左）歓迎の挨拶をする黄秘書長



（右）亜東協会の皆様と記念撮影

台湾外交部の亜東關係協會の歓迎会に出席。亜東協會は日本と台湾には正式な国交が無いいため、両国に外部出先機関として設けられている。亜東關係協會からの出席者は日本への赴任経験がある方がほとんどで日本語も堪能な方が多く、両国の交流の歴史、政治情勢などについて活発な議論を交わした。

【8月29日（水）2日目】

（3）嘉義市表敬訪問



（左）記念品交換をする李副市長と寺田青年局長



（右）嘉義市関係者との記念撮影

台湾中南部に位置する嘉義市（省轄市）を表敬訪問。嘉義市は旧名を諸羅といい、1622年、福建省の顔思齊が笨港（現在の雲林北港と嘉義新港一帯）から上陸して開墾を行った台湾最古の漢民族の町である。李錫津副市長は歓迎の挨拶とともに嘉義市は芸術性、歴史性などを備えた多元化された都市であり日本と深いつながりがあることを紹介。寺田青年局長からは、先の東日本大震災での台湾からの援助に対して感謝の意を伝えた他、嘉義市長が京都に訪問された時のエピソードを紹介。最後に青年局メンバーがこれから日本と台湾、京都と嘉義市との連携交流を広めていく役割を果たしたいと述べた。

（4）八田与一記念公園、鳥山頭ダム視察



（左）八田与一記念公園



（右）鳥山頭ダム前にて記念撮影

嘉義市よりバスで約60分、台南市宮田区の「鳥山頭ダム」とダム建設の貢献者、日本人技師の八田与一氏の功績をたたえる「八田与一記念公園」を視察。八田氏は日本統治時代の台湾で、鳥山頭ダムをはじめ農業水利事業に大きな貢献をした人物として

台湾でとても評価され、烏山頭ダムでは毎年、八田氏の命日の5月8日に慰霊祭が行われている。記念公園には八田氏の銅像とお墓がある他、八田氏を顕彰する記念館も併設されている。

(5) 台南市頼清徳市長主催の歓迎夕食会



(左) 歓迎の挨拶を述べる頼市長



(右) 記念交換をする頼市長と寺田青年局長

台南市頼清徳市長主催の歓迎夕食会に出席。台南市（直轄市）は台湾島の西南海岸に位置しており、台湾の四番目の大都市で、台湾の最も古い町である。台北市が省都になるまでは、台湾の政治や経済、文化の中心地だったこともあり名所旧跡が多いなど、京都との共通点が多い。頼市長は、台南県と台南市が合併して直轄市となった初代の市長であり、民進党の次代ホープとして期待されている。夕食会では、頼市長から歓迎の挨拶とともに、台南市の市勢について説明を受ける。寺田青年局長からは、台南市が新に世界歴史都市連盟（会長：門川大作京都市長）に加盟したことへの祝辞とともに、京都と台南市との交流を我々青年世代が先頭に立って深めていきたいと述べた。

【8月30日（水）3日目】

(6) 台南市議会表敬訪問



(左) 議場内の説明を受ける視察団



(右) 嘉義市議会の外観

台南市内中心部、台南市政府隣接する「台南市議会」を表敬訪問。「台南市議会」は、定数 57 名（民进党 27 名、国民党 13 名、無党籍 17 名）で、選挙区は 18 選挙区で任期は 4 年。議会担当職員から議会運営について説明を受ける。議会の設備も充実しており、議員一人に複数の公設秘書が専属で割り当てられるなど議員の待遇面でも日本の地方議会より優遇されている。

(7) 赤緬樓、大天后宮視察



(左) 赤緬樓



(右) 大天后宮

台南市中心部にある「赤緬樓」「大天后宮」を視察。「赤緬樓」は 1652 年にオランダ人に創設されたもので、もとはプロビンティア城と言われていたが、のちに中国人に「赤緬城」、番仔樓、赤毛樓などと呼ばれるようになった。明代、清代、日本統治時代と長い歳月を経ているものの、昔ながらの風貌がほぼ保たれている。オランダ人により占拠されていた時代から行政要所とされ、1661 年に鄭成功がオランダ人を駆逐した後、プロビンティア城を首府に制定した。大天后は 1684 年創建され祭られているのは台湾でもっとも信仰を集めている媽祖である。京都と同様寺院が信仰と観光となっており、周辺には京都同様土産店が並んでいる。

(8) 奇美博物館視察



(左) 担当者より説明を受ける



(右) 視察後奇美実業創始者の許会長との懇談

台南市中心より、バスで約 60 分、仁徳区の「奇美博物館」を視察。「奇美博物館」は、奇美グループ創業者、許文龍会長の社会貢献の経営理念の下設立された博物館。西洋絵画・彫刻、楽器、古兵器、自然史、古文物 5 つのエリアによって構成され収蔵品の種類は大変多く、有名音楽家に貸し出すこともあるストディヴァリウス等のヴァイオリン、数百年前の日本刀や、ルネッサンス派やバビルソン派の名作のほか、アジア全域に渡る鳥類の標本など、数万点もの広範囲にわたる文化的美術品や教育的コレクションが収蔵されている。館内視察後、許会長より奇美グループの会社の利益を社会貢献と社員へ還元するという企業理念の説明を受ける。また許会長は「インフラ整備などの基礎はほとんど日本統治時代に完成した」「治安が良くなり、衛生状態、教育も良くなった」など日本統治時代の功績を高く評価。日本と台湾との交流の重要性を述べられた。

【 8 月 31 日（金）4 日目】

（ 9 ）安平樹屋、安平古堡視察



（左）安平樹屋



（右）安平古堡

視察最終日、台南市西部の「安平樹屋」「安平古堡」を視察。「安平樹屋」は元タイギリス商の倉庫で、倉庫内外に古いカジュマルの木がいくつも絡みあっている。将来的にカジュマルの木の特性を利用した仕掛け（敷地内の陸橋をカジュマルの木で繋ぐ予定）がなされている他、「安平樹屋」に隣接する徳記洋行が蠟人形や写真で安平の歴史を振り返る施設となっているなど、観光地の取組みとして参考になる点が多い。「安平古堡」は台湾で初めての城となる熱蘭遮城が 1642 年、オランダ人の手によって建設。ここはかつてオランダ人による統治の中核とされ、対外貿易の中心地であった。もともと安平古堡は正方形をした内城と長方形の外城から構築されていたが 1661 年、鄭成功がオランダ人の手中から台湾を奪回し、故郷を記念してこの地を安平と改名した。

台湾視察研修を終えて

本年、台南市が世界歴史都市連盟（会長都市・京都市）に加盟された。また昨年には八田与一技士がダム建設により台南地方を中心とする広い地域で活躍された事があらためて見直され、記念公園や記念道路が設置された。そういった背景を考え、我々京都府連所属の青年局メンバーは今般、台南方面を中心に視察研修を行った。嘉義市においては李錫津副市長はじめ市政府関係者と意見交換。過去に嘉義市長が京都市を訪問された事を話し、両地域の交流を約束した。また台南市では頼清徳市長と都市間交流を始める事により共通の問題の解決に繋がると確認しあった。今回の訪問で、台南地方が日本人が感謝されている地でありながら日本人がよく知らない地域であり、また故き日本の良さが感じられる地域であるということを再認識し、今後、京都をはじめとする多くの都市がより一層交流することの必要性を強く感じた。



自由民主党京都府支部連合会
青年局長 寺田 一博

自由民主党京都府支部連合会青年局

〒604 - 0052 京都市中京区御池通堀川東入
TEL 075 - 222 - 0101 FAX 075 - 241 - 0405
<http://www.kyoto-jimin.jp>